



2022年 野球殿堂入り通知式

館長 庄司正信

1月14日、野球殿堂博物館を臨時休館にし、午後2時30分より殿堂ホールにおいて、2022年野球殿堂入り通知式を開催いたしました。新型コロナウイルス感染予防のため、今年も昨年に引き続き関係者のみ出席で、メディア、維持会員の皆様にはYouTubeのオンライン配信とさせていただきます。

競技者表彰のプレーヤー表彰では、現東京ヤクルト・スワローズ監督の高津臣吾さん、中日ドラゴンズ一筋で活躍された山本昌さんのお二人が選出されました。エキスパート表彰は、残念ながら昨年に続き該当者はありませんでした。また、特別表彰からは、首都大学野球連盟の設立など、学生野球の発展に貢献された故・松前重義さんが選出されました。

斉藤 惇理事長から本年の野球殿堂入りの発表、澤田 啓太郎競技者表彰委員会代表幹事及び池田哲雄特別表彰委員会議長より、それぞれの委員会での選考過程について報告がありました。続いて、殿堂入り通知書の授与、顕彰者の挨拶が行われました。

最初に高津さんから、殿堂入りへの感謝が述べられた後、「野球の発展に貢献することとは、裾野を広げることだと思う。多くの人に熱狂していただけるような真剣勝負をお見せすることで野球の発展につなげたい。」と今後の抱負をお話になりました。次に山本さんから、小・中学校時代は補欠だったなどの思い出が語られ、「アイクさん（生原昭宏氏02年殿堂入り）との出会いが自分を大きく変えてくれた。今回の殿堂入りを報告できたらどれだけ喜んでくれたかと思います。」と恩師への感謝が述べられました。東海大学学長の山田清志さんからは、松前さんとモスクワに行った際、ご子息の達郎さんとバッテリーを組み、野球を知らないロシア人のモスクワ大学総長をバッテリーにして、始球式を行ったとの思い出を話された後、「松前さんの功績を後世に伝えるべく尽力していきたい。」と決意を述べられました。

引き続き、ゲストスピーチに移りました。異例ではありましたが、高津さんと山本さんと親しい古田敦也さん（15年殿堂入り）にお二人のゲストスピーチをお願いしました。山本さんに対しては、投球術、人間性、あくなき向上心などをたたえるエピソード、高津さんに対しては、素晴らしい実績について、ホワイトソックス時代のTシャツの紹介、ピッチングの特徴などをユーモラスに語っていただきました。また、松前さんには息子のようにかわいがっていただいたとおっしゃる原 辰徳さん（18年殿堂入り）には、お付き合いの深さ、建学の精神が今も自分に宿っていること、松前さんとお父様である貢さんや元首相の田中角栄さんのエピソードなどをご紹介いただきました。

最後に、殿堂入りされた方々、ゲストスピーカー、理事長を交えた記念撮影を行いました。厳かな中にも笑顔があふれる通知式となりました。顕彰者の皆様、野球殿堂入りおめでとうございます。



後列左から 古田敦也氏、原 辰徳氏
前列左から 山本昌氏、高津臣吾氏、斉藤 惇理事長、山田清志氏

2022年野球殿堂入り

競技者表彰委員会

第62回競技者表彰委員会はプレーヤー表彰で、東京ヤクルトスワローズやシカゴ・ホワイトソックスなどで活躍した高津臣吾氏、中日ドラゴンズひと筋に50歳まで現役を続けた山本昌氏の2人を選出した。エキスパート表彰は該当者なしだった。

プレーヤー表彰の候補者は、現役引退から5年経過かつ21年未満の有資格者の中から競技者表彰委員会幹事会が選ぶことになっている。今回は25名が選ばれ、15年以上の野球報道経験を持つ委員が最大7人連記で投票を行った。委員総数は363、投票委員数、有効投票数ともに361で、無効票はゼロだった。

当選には有効投票数の75%以上の得票が必要で、今回の当選ラインは271票。高津氏が得票率86.1%の311票、山本氏が85%の307票を獲得し、殿堂入りを果たした。プレーヤー表彰での殿堂入りは2019年の立浪和義氏以来、3年ぶりだった。

高津氏は資格を得てから7年目の殿堂入り。過去2年は連続して最多得票（ともに259票）で、殿堂入りに最も近いとみられていた。今回は昨年から52票を上積みし、86.1%という高得票率を記録した。



高津 臣吾氏

高津臣吾氏 通算成績					
N P B	15年	598試合	36勝46敗286セーブ	防御率3.20	
M L B	2年	99試合	8勝 6敗 27セーブ	防御率3.38	
K B O	1年	18試合	1勝 0敗 8セーブ	防御率0.86	
C P B L	1年	40試合	1勝 2敗 26セーブ	防御率1.88	

高津氏は現在ヤクルトの監督でもあり、現役監督の殿堂入りは18年の金本知憲氏以来8人目。金本氏の前に川上哲治氏、鶴岡一人氏、落合博満氏、秋山幸二氏、工藤公康氏、

伊東 勤氏が現役の監督の時に殿堂入りしている。また、大リーグ経験者としては、戦前戦後に日米交流に貢献したフランク・オドール氏、野茂英雄氏、佐々木主浩氏、松井秀喜氏に続く5人目となった。

山本氏は有資格2年目に殿堂入りした。初年度の昨年、いきなり244票を獲得したが、これは高津氏に次ぐ2番目の得票数だった。資格1年目のいわゆる「一発当選」こそなかったが、資格2年目の殿堂入りは島岡吉郎氏、広岡達朗氏、稲尾和久氏、山内一弘氏、そして09年の若松 勉氏以来、6人目。ちなみに資格1年目に殿堂入りしたのもスタルヒン氏、王貞治氏、野茂英雄氏、工藤公康氏、松井秀喜氏、金本知憲氏の6人しかいない。



山本昌氏

山本昌氏 通算成績
NPB 29年 581試合 219勝165敗5セーブ 防御率3.45

今回、得票率50%以上だった候補者は57.9%のアレックス・ラミレス氏、50.7%の川相昌弘氏の2人。そのほか、黒田博樹氏が資格初年度で得票率45.7%の165票を獲得したこと、資格2年目の谷繁元信氏が昨年度より30票近く伸ばして167票を獲得したことなどが目についた。エキスパート表彰での該当者なしは2年連続。現行制度になった08年以降で6度目の残念な結果になった。

投票権を持つ委員は、すでに殿堂入りされている方と競技者表彰委員会の幹事、及び野球報道経験30年以上の方々。今回の委員総数は150、投票委員数、有効投票数ともに146で、プレーヤー表彰同様、無効票はなかった。

今回から候補者の上限を20人から25人、最大5人連記か

2022年野球殿堂入り

ら6人連記に規程を改正した。当選には75%以上の得票（110票以上）が必要だったが、幹事会が選んだ24名の候補者でそれを上回る人物はいなかった。

最多得票者はランディ・バース氏で、得票率72.6%の106票。殿堂入りにわずか4票足りなかった。昨年は当選まで6票足りず、2年連続して、あと1歩のところまで殿堂入りを逃している。掛布雅之氏が得票率58.9%の86票で続き、阪神タイガースのかつての3、4番がここ数年トップ2を占める結果が続いている。バース氏、掛布氏ともに得票率は昨年よりも上がっており、果たして来年はどうなるか。

競技者表彰委員会代表幹事 澤田 啓太郎

写真提供：ベースボール・マガジン社

特別表彰委員会

2022年1月7日、午後2時30分から東京・文京区の東京ドームホテルで、第61回特別表彰委員会が開催された。今年は昨年特別表彰委員会で野球殿堂入りした川島勝司氏と佐山和夫氏の2名を除く、計8名の候補者の中からさらに6名に絞り込み、新たに4名の候補者を選出することが決定。特別表彰委員会14名の表彰委員の中で、当日出席した表彰委員は11名。欠席者は3名だったが、表彰委員会規程第25条により、半数以上の出席者があったため、投票が適正に成立した。

投票の結果、今回の特別表彰委員会で殿堂入りに必要な75%以上の得票（9票）を獲得したのは、松前重義氏だった。



松前 重義氏

松前氏は1901年10月24日、熊本県に生まれる。熊本高等工業学校電気工学科から、22年4月、東北帝国大学工学部電気工学科へ進学。25年4月、通信省入省。太平洋戦争後の45年8月30日、通信院総裁に就任するが、47年1月4日に公職追放となる。

公職追放が解かれた52年1月15日に東海大学を設立。理事長と学長の座に就いた。52年10月、第25回総選挙に熊本1区から出馬して、衆議院議員に初当選。政界にも大きな影響を与える。

大学野球の振興にも力を入れ、64年に東海大学を始めとする7大学から成る首都大学野球連盟を設立。松前氏は全日本大学野球選手権大会の出場校を大幅に増やしたいという意向を持っていた。その後、首都大学野球連盟はさらに加盟校を加え、現在では計16大学による2部制でリーグ戦を実施している。

学生野球への熱い思いを松前氏は語る。

「我々が意図する野球は、職業的な野球になってはならないということである。つまり、学問とスポーツの両立をはかることを基本とし、野球を通じて人生を学び、常にフェアプレーの精神をモットーに、学生らしいきびきびとしたプレーを展開することもまた学生野球の神髄であろうと思うのである」（「首都大学野球連盟二十年史」より抜粋）。

松前氏は「スポーツを通じて国家間の友情を育む」という世界平和の夢実現を目指して、66年には日本対外文化協会を設立。同会長に就任した松前氏は、国際的な人脈を広げた。75年には、日米大学野球選手権の日本代表の団長として訪米。ロサンゼルス・ドジャースのピーター・オマリー会長と親交を深める。

オマリー氏から野球のオリンピック正式種目採用への協力依頼を受けた松前氏は、旧ソ連や東欧諸国への民間外交を展開。東西冷戦の緊張が続く中、89年にはモスクワ大学に野球場を建設（松前記念スタジアム）し、寄贈することによって、国際的な野球の普及とスポーツを通じた国際交流を推し進めた。

松前氏が掲げた世界への野球の普及とスポーツを通じた国際貢献が、92年のバルセロナ五輪で、野球が正式種目として採用される布石となった。さらに昨年開催された1年遅れの2020東京五輪で、3大会ぶりに復活した野球が金メダルに輝く栄誉も、松前氏の功績なくしては実現しなかったことが、球史に燦然と記されている。

1991年8月25日逝去。享年90歳。

特別表彰委員会議長 池田哲雄

写真提供：東海大学

殿堂入りの人々を語る(71)

閃きを形に

水野正人 (1971年野球殿堂入り 水野利八氏孫)



水野利八氏

私の祖父、水野利八はミズノの創業者として誠に独創的でユニークな人でした。ひ弱な男の初孫を心配し、早稲田野球部OBで芦屋スカウト育成会長の増田 稲三郎氏に相談、私をカブスカウトに入隊させました。私はスカウトの「そなえよつねに」をモットーに幸せな人生を過ごすことができ祖父に感謝をしています。

水野家のあった岐阜県大垣は、1892年の濃尾大地震で町の8割が壊滅しました。祖父は高等小学校を終えて大阪に丁稚奉公に出ましたが、縁あって京都で働いていた時にたまたま京都第三高等学校と神戸外人クラブの野球の試合を見て、このスポーツの面白さに引き込まれたそうです。この出会いこそ利八が日露戦争から大阪に帰還し、1906年に野球などの運動服装を取り扱う「美津濃兄弟商会」を設立したきっかけとなり、それがスポーツの「美津濃」(ミズノ)のスタートでした。

大好きな野球を普及するために関西学生連合野球大会(後の夏の甲子園野球大会)を朝日新聞と開催し、ばらつきのある野球ボールの反発性の標準化の為、大理石を置き、ある高さから自分の目の高さにまで弾くボールを選び分けました。今もそれが野球ボールの基準になっています。

27年に大阪の淀屋橋に8階のビルを建設、そしてスキー、テニス、33年にはゴルフと各種スポーツ品の製造販売を拡大して行きました。36年、新しい時代に向けた閃きでグライダーの製造を始め、キャッチフレーズを「スポーツは陸から海から大空へ」としました。美津濃グライダー・ソアラ 301は対空記録、高度記録を塗り替えたと記録されています。

何か閃きがあると速やかに形にするために、指示を伝える「命令書」がありました。これはロールになった3枚重ねの紙の間にやはりロールのカーボン用紙が直角に挟み込まれる木箱で、誠に良くできた仕組みになっていました。命令書には通し番号が振られ、自分の控え、秘書、指示先担当者に回され、期限内に秘書が返答を回収し報告する仕組みです。まだメールが無い時代にしっかりと指示・実行・報告を確実にする仕組みを作り、閃きを形にしていたと思います。

私が5、6歳の頃、祖父と撮った写真が残っていますが、祖父のスラックスはベルトが腰骨で留まる今で言うヒップボーン・パンツをあつらえ、ずり落ちないように工夫をしていました。私が高校生になってリーバイスのジーンズを穿いて初めてヒップボーン・パンツの効果を知り、祖父はこの原理を形にしていたのだと、その先見性に驚きました。

またバットは木製のため木の細管に樹脂を入れることで耐久性を上げられるに違いないと閃き、技術開発部がそんな事は実現しないという中、釜の中にバットを縦に立てて真空状態を作りました。底の方からある程度まで樹脂を入れて行くと細管に樹脂が入ってそれを締めて反発性を上げ長持ちするレジタイト・バットを開発し、長い間多くの選手に喜んで頂きました。

スキー板はヒッコリーの単板が当たり前でありましたが、頻繁に折れました。そこでヒッコリーの薄い板を接着剤で張り合わせることで弾力性と耐久性を併せ持つヒッコリーパック・スキーを開発し一時代を築きましたが、その後はメタルスキー、カーボンスキーと新素材に置き換わって行きました。

祖父は製品規格をしっかりと規定して品質を安定させ、フェアな競技が出来るように仕組んでいました。硬式野球ボールは今も手縫いの製品ですが、当時から450円でした。製品原価が高くなって値上げをしないと利益が出ないという社内の声に「高校生に高いボールを買わせる訳には行かない。ワシの目の黒い内は値上げをしない」とこだわり抜きました。

野球を愛し、閃きを形にした祖父の人となります。

知ってほしいこんな資料(96)

 きつたに
橘谷

健氏

1969年 第1回日本学生野球協会表彰選手トロフィー
1970年 第41回都市対抗野球大会久慈賞トロフィー

野球殿堂博物館では、2021年3月19日～6月9日の期間、企画展「文京野球物語」を開催しました。当博物館の地元・文京区は、野球とのつながりの深い地域で、1890年代を中心に黄金時代を迎えた第一高等学校（一高）が活動していたほか、東京大学の活動拠点である東大球場や、数々のプロ野球の名勝負が繰り広げられた後楽園スタジアム、東京ドームも区内に位置しています。

また、少年野球も盛んで、現在、学童14チーム、中学6チーム（うち1チームは女子）が活動しているほか、区内の高校では、東京高等師範学校附属中学校（現・筑波大学附属高校）と日本大学豊山高校が、現在の夏の甲子園大会への出場経験があります。そこで、この企画展では、遠方へ出かけることが難しいコロナ禍の今だからこそ、文京区民をはじめとする多くの皆様に、知られざる文京区と野球の深い歴史について知っていただきたいとの思いから、少年野球、高校野球、一高・東大、後楽園・東京ドームなど、様々な視点から構成しました。この展示を機に、東大、川崎重工でプレーした橘谷健氏から、69年第1回日本学生野球協会表彰選手トロフィー、70年第41回都市対抗野球大会久慈賞トロフィーをご寄贈いただきましたので、ご紹介します。

橘谷氏は、都立西高校を卒業後、東大に入学。68年春にはエースとして明大を相手に連投連勝し、勝ち点を奪いました。このとき星野仙一投手（のち中日。17年殿堂入り）に投げ勝つなど、大学4年間で通算3勝を上げる活躍を見せました。日本学生野球協会が各連盟から優秀選手を選出する制度が始まった69年には、橘谷氏は東京六大学野球連盟から選出され、第1回の表彰選手となりました。東大からは、2018年の第50回で宮台康平投手（現・ヤクルト）が受賞しましたが、それは橘谷氏以来49年ぶり2回目のことでした。

橘谷氏は卒業後、川崎重工（神戸市）に入社。70年、後楽園スタジアムで開催された第41回都市対抗野球大会では、所属していた川崎重工は予選敗退だったものの、三菱重工神戸の補強選手として出場しました。

橘谷氏は、1回戦の熊谷組戦では5回から救援すると5回無失点と好投。2回戦の日本生命戦では2回途中から登板し、7回2/3を2失点の好投で勝利に貢献します。準々決勝の日本石油戦では5回2/3を無失点に抑え、準決勝のサッポロビール戦では、9回4失点の完投勝利でチームを決勝へと導きました。



1969年 第1回日本学生野球協会
表彰選手トロフィー



1970年 第41回都市対抗野球大会
久慈賞トロフィー

決勝で三菱重工神戸は、大昭和製紙と対戦。試合は、橘谷氏と、同じく東京六大学で活躍した早大出身の安田 猛 投手（のちヤクルト）の投げ合いとなります。ともに4回途中から登板すると投手戦となり、延長14回の末、1-1で引き分けとなりました。

翌日の再試合では、ともに救援で登板。お互いに無失点の好投でしたが、序盤に3点を奪った大昭和製紙が優勝し、安田投手はMVPにあたる橋戸賞を受賞しました。一方、再試合を含め6試合39回1/3を投げた橘谷氏は、敢闘賞にあたる久慈賞を受賞しました。橘谷氏は、東大出身としては史上唯一の久慈賞受賞者です。

学芸員 井上裕太



企画展「文京野球物語」をご見学いただいた
橘谷 健氏



こんにちは図書室です



幻の機関紙「週刊日本野球」②

前回、日本野球連盟（現在の日本野球機構）が発行していた「週刊日本野球」について取り上げました。発刊の趣旨や当室の所蔵状況について書きましたが、今回は「週刊日本野球」の内容をご紹介します。

「週刊日本野球」は、タブロイド判（タテ40.6cm ヨコ27.3cm）の全4ページの資料です。当時のペナントレースの状況や試合に対する評論、成績などが大きな割合を占めていますが、連盟の機関紙ならではの内容も掲載されています。2つほどご紹介します。



まず、プロ野球の2リーグ制発足を報じた記事の中にある日本野球連盟の声明書です。記事の見出しは、「日本野球連盟発展的解体 輝く二大リーグ新発足」〔昭和24(1949)年12月3日発行 第82号〕

声明書部分（以下本文より抜粋）

日本野球連盟は今回日本における職業野球発達のため連盟組織を解体し、各球団は新しき構想の下に自由意思を以て各々集結することとなった

この結果が連盟の理想とした二大リーグ実現の契機となることを希い、これがため極めて民主的統制機関として各球団から委員を選出し、日本野球協議会のごときものを設け一糸乱れざることを期している

而して連盟にて受理した加盟申込の各球団は、今後自由に行動されんことを望むものである

最後に本連盟は永年にわたるファン各位の御支援に感謝し、併せて新編リーグ誕生に拍手を贈るものである
昭和二十四年十一月二十六日 日本野球連盟

2リーグ制発足について書かれている資料は多くありますが、日本野球連盟の声明書が掲載されている資料は、他に見たことがありません。

また、鈴木惣太郎氏（68年殿堂入り）による連載「望洋台だより」が第109号〔昭和25(1950)年6月17日発行〕よりスタートしています。第1回のテーマは、「審判」。アメリカン・リーグの審判長であったトム・コナリーなどを紹介しながら、審判に寄せられる指摘の声に対し、意見を述べています。その後、第291号〔昭和29(1954)年1月2日発行〕まで不定期で連載され、アメリカ野球界の例を見ながら、日本のプロ野球に生じた問題や論題に対し、持論や連盟としての考えを提示しています。日本野球連盟が戦後、プロ野球を発展させていくために、組織としてどのように取り組んでいたのかを振り返る上で、非常に重要な連載といえます。

創刊から4年目を迎えた第200号〔昭和27(1952)年3月29日発行〕の「望洋台だより」の中で、鈴木氏は、アメリカでも日本でも野球が持っているスポーツとしての優れた良き面やレクリエーションの要素を早く正しく発見し、巧く大衆に売り込んだのは文筆の力によるものであり、野球についての文筆の業に携わるものは、選手、監督、経営者と等しく、懸命の努力を必要とする重大な指名を負っている。そして、決して華々しい仕事ではないが、日本の野球を正しく強く繁栄させるために、この「週刊日本野球」を是非とも続けてもらいたいと述べています。（ここでの文筆は、報道、評論、記録、その他あらゆる「文と筆」になるものとスケッチ、漫画、写真の類も含まれると書かれています。）

野球専門の図書室の役割は、このような歴史的な資料を収集保存し、後世へ残していくことです。その重要性や意義を改めて考えさせられています。

創刊号が発行されてから74年が経とうとしている「週刊日本野球」は当室で閲覧ができます。これからもご利用していただけるように、保存や閲覧方法などを検討していきたいと思います。

司書 永沼 里菜子

■図書室の開室時間の変更

水・金曜日：13:00～14:30、15:00～16:30 日曜日：10:00～12:00、14:00～16:00

※図書室は事前予約制です。ご利用希望日の前日17時までに、お電話で予約をお願いします。

詳しくは、<https://bml.opac.jp/opac/top> でご確認ください。

野球殿堂博物館 トピックス

9/29～ 埼玉西武ライオンズ・栗山 巧選手 通算2000安打達成記念展示

栗山選手は、9月4日の楽天戦（楽天生命パーク）で、NPB史上54人目、西武球団の生え抜きで一筋の選手としては、史上初のプロ通算2000安打を達成しました。そこで栗山選手にご協力いただき、達成時のバット、ボール、バッティンググラブ、ユニホームを展示しました。



11/2～12/9 都市対抗野球大会特集展示2021

第92回都市対抗野球大会開催に合わせ、都市対抗野球の魅力を紹介する特集展示を開催し、本大会出場で2000年代に優勝した9チームの黒獅子エンブレム付きユニホーム、都市対抗から羽ばたいた現役プロ選手の使用用具、本大会出場記念の毎日新聞号外パネルなどを展示しました。



12/10～2/23 2021年引退選手特集展示

当博物館のコレクションから、2021年シーズン限りで引退した選手の一部を紹介する特集展示を開催し、松坂大輔投手の引退試合使用球、鳥谷 敬選手のユニホーム、亀井善行選手のバットなどを展示しました。また、会場では引退選手の活躍した日本シリーズのダイジェスト映像を上映しました。



公式記録員が教える「NPB式スコアの付け方」教室開催!

NPB記録データ管理部の山川誠二氏をお迎えし、12月12日に初級編（Zoomで開催）、12月22日に中級編（現地とZoomで開催）を実施しました。初級編ではNPB式スコアの基礎的な付け方について解説いただき、中級編では自責点の考え方などより専門的な内容を解説いただきました。初級編、中級編ともに多くの皆さんがご参加くださいました。

第6回野球で自由研究!コンテスト 協力：一般社団法人日本野球機構 株式会社NPBエンタープライズ

野球殿堂博物館では、「第6回野球で自由研究!コンテスト」を開催しました。作品募集期間は2021年8月1日から11月30日までで、過去最多の251作品の応募がありました。22年1月27日（木）に、山中正竹氏（16年殿堂入り、全日本野球協会会長）、田原淳子氏（国土館大学教授）、平田稔氏（日本野球機構野球振興室長）、庄司正信館長の4名の審査が行われました。授賞作品は、3月に発表予定です。授賞作品は、「第6回 野球で自由研究! コンテスト作品展」として、その他の一次選考通過作品とともに展示予定です。作品展の日程は、後日当館ホームページにてお知らせいたします。（第6回野球で自由研究!コンテストは図書館振興財団の助成を受けています。）



バーチャル野球殿堂博物館オープン!

ご自宅などから館内の展示をまるでその場にいるような感覚で楽しむことができる、「バーチャル野球殿堂博物館」をオープンしました。野球殿堂博物館を3Dの高精細画像で体感できますので、ぜひご覧ください。

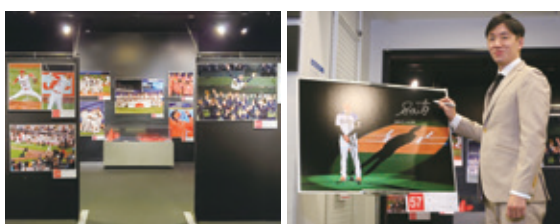
<https://my.matterport.com/show/?m=5fssrdtdWHq>

これからの展示のお知らせ

企画展「野球報道写真展2021」

会期：2021年12/18(土)～2022年3/6(日)
会場：企画展示室

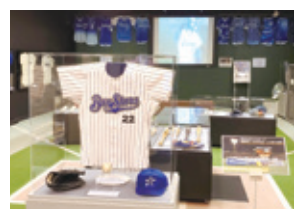
東京写真記者協会加盟各社のカメラマンが撮影した、2021年シーズンの野球界のハイライトを収めたベストショットで、野球の素晴らしさを伝える写真66作品を展示し、1年間の野球界の出来事を振り返ります。会場では「ベストショット オブ ザ イヤー2021」を決めるファン投票を実施しています。会期初日のオープニング見学会には、斎藤佑樹氏にご来館いただき、本展で展示している斎藤氏の引退スピーチの写真パネルに記念のサインを書き入れ、展示をご覧いただきました。



12球団特集展示

会場：イベントホール

当館では2021年から、シーズン中にひと月ごとに各球団を紹介する「球団特集展示」をイベントホールで開催しています。本年は、読売ジャイアンツ、北海道日本ハムファイターズ、オリックス・バファローズ、福岡ソフトバンクホークス、中日ドラゴンズの特集展示を開催予定です。



昨年のベ이스ターズ特集の展示風景

野球伝来150年記念展

【第2期 1946-1988】会期：3/18(金)～6月上旬(予定)
【第3期 1989-2022】会期：6月下旬～9月下旬(予定)

当館では、2022年の野球伝来150年を記念し、日本の野球史を150のキーワードで振り返る展示を、3期に分けて開催しています。2021年9月10日～12月9日に開催した第1期では、1872年～1945年までを紹介しました。本年は、第2期で1946年から1988年まで、第3期で1989年から2022年まで、それぞれ50のキーワードで紹介します。



第1期の展示風景

博物館からのお知らせ

▶理事会

2021年10月27日 東京ドームホテルにて開催

議題 1. 特定資産取崩について

2. 会議日程等について

報告 1. 理事長及び業務執行理事の職務の執行状況について

2. 2021年夏の営業報告及び今後の活動について

3. 職員退職及び採用について

4. 臨時休館及び殿堂入りスケジュールについて

▶新職員紹介

玉水甫樹 (たまみず もとき)

1990年4月28日生まれ 宮城県出身

2013年 明治大学 文学部 史学地理学科 日本史学専攻 卒業

地元(宮城県大崎市)の市役所を経て、2021年9月1日より

当館の業務管理部に勤務。

場 所 東京ドーム21ゲート右

開館時間 当面の間

平日 13:00～17:00 (最終入館16:30)

土・日・祝 10:00～17:00 (最終入館16:30)

※東京ドームで、巨人戦が開催される日については、18:00閉館(最終入館17:30)といたします。

入館料 大 人 600円 (500円) } () は
高・大学生 400円 } 20名以上の団体
小・中学生 200円 (150円)
65歳以上 400円

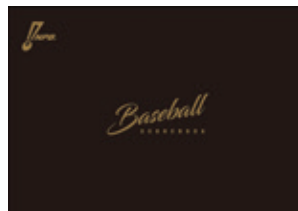
休館日 月曜日(祝日、東京ドームでのプロ野球開催日、春夏休み中は開館)、年末・年始(12月29日～1月1日)

※新型コロナウイルス感染状況により、開館時間の変更や臨時休館になる可能性がありますので、開館日・開館時間につきましては当館のホームページでご確認ください。

～当博物館内及びオンラインショップにて販売中～

●NPB式スコアブック(慶応式・A4サイズ)

販売価格：1,300円(税込)



NPBの公式記録員が実際にプロ野球の試合で記入している様式と同じ「慶応式」スコアブックです。記録できる試合数は43試合で、「慶応式」の記入方法も詳しく掲載しています。

●野球スコアのつけ方完全マニュアル

販売価格：1,540円(税込)



日本初のプロ・アマ統一解釈によるマニュアルで、スコアを付けたい方は必見の一冊です。

※一般的に広く知られている「早稲田式」の記入法が解説されています。

※上記の商品も、オンラインショップで取り扱っております。お買い求めはこちらから▶



●編集後記 今年の野球殿堂入りの方々が決まりました。今年の表彰式は、多くの方にご覧いただきたいと願っております。

野球殿堂博物館 Newsletter 第32巻 第1号

2022年2月22日発行

編集・発行 公益財団法人 野球殿堂博物館

〒112-0004 東京都文京区後楽1-3-61

Tel 03 (3811) 3600 Fax 03 (3811) 5369

http://www.baseball-museum.or.jp/

